



全校児童と記念撮影「来年も楽しみにしています」(中央=梶山校長先生)

小石丸の繭の贈呈式がアブダビ校で開かれる アブダビの子供たちから日本の仲間たちへ「ありがとう」



各学年の児童代表から感謝の言葉が贈られる

アブダビ日本人学校で子供たちが育てた小石丸の繭の贈呈式が十一月二十一日、同校の講堂で全児童が参加して行われました。

贈呈式では、一年生から六年生まで各学年の代表が「初めて見る蚕に最初は気持ち悪かったけど、とてもかわいらしくなりました。貴重な経験ができました。ありがとうございます」など思いにお礼の言葉を伝えました。

全校児童一丸となって百七十八粒の繭が取れる



アブダビで育った小石丸の繭

同校では百七十八粒の繭と卵の採取に成功。卵は来春、UAE産の小石丸として東京の小学校にプレゼントされる予定です。

一学期は小石丸が全滅してしまい失意のどん底だった児童たち。今回の成功に全員が満面の笑みを浮かべ、これからも東京の小学校との交流を楽しみにしていました。



178粒の繭と卵を受け取る主催者